

管機連 Daily News

2021年11月24日(水)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆温暖化ガスを宇宙から観測 環境省、23年にも実用化

・環境省は2023年にも、国単位の温暖化ガスの排出量を宇宙から測定する取り組みを始める。まずモンゴルなどアジア太平洋地域の数力国を対象にする。地上での測定技術が乏しい途上国でも排出量を把握できるようにして世界の気候変動対策を後押しする。将来は各国が公表する排出量が正しいかなどの監視に使うことも視野に入れる。

◆EV補助2倍の最大80万円、米欧並み水準 政府が支援

・電動車と充電インフラ整備に関する政府の新たな支援策の全容がわかった。電気自動車(EV)の購入者への補助金を現在の2倍の最大80万円に引き上げる。脱炭素社会の実現に向け、米欧に比べ普及が遅れるEVなどを増やす。補助水準は米欧と同水準になるが、充電設備などへの支援は米国の計画には見劣りする。本格的な普及には持続的な対策が必要に。

◆「下請けと共存共栄」3800社が宣言 政府目標の倍近くに

・下請け企業との共存共栄を目指す「パートナーシップ構築宣言」を公表した企業が3800社を超えた。政府が6月に公表した成長戦略実行計画では2021年度内に2000社の宣言を目指していた。今後は大企業の取り込み拡大を図るとともに、効果を高めるため宣言企業の実態を調査する方針。発注企業が下請け先と適正な価格で取引することなどを表明する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ステンレス薄鋼板上昇 前月比2%、厨房機器向け回復

・家電や機械、自動車部品などに使うステンレス薄鋼板の値上がりが鮮明だ。代表品種の流通価格は東京地区で前月比2%高く、年初からの値上がり率は20%に達する。新型コロナウイルスの感染拡大の一方で厨房機器向けを中心に需要が回復し、ステンレスメーカーの値上げが浸透している。産業機械など幅広い用途でコストの押し上げ要因になる。

◆日本、初の石油国家備蓄放出へ 年内にも入札

・バイデン米政権が戦略石油備蓄の放出を発表したことを受け、日本政府は24日に国家備蓄の放出を発表する。国内需要の減少に伴い、必要な備蓄量を上回る余剰分を放出。年内にも売却に向けた入札を実施。国家備蓄の放出は初めて。原油価格の高騰を抑えるため、米国の要請に応じて各国と協調。日本の石油備蓄は9月末時点で国内需要の240日分程度ある。

◆2021年度着工85.4万戸と予測——建設経済研究所

・建設経済研究所と経済調査会経済調査研究所は2021、22年度の「建設経済モデルによる建設投資の見通し」(11月)を公表。2021年度の民間住宅投資は、コロナ禍等の影響によって続いた減少傾向が下げ止まり、年度前半には回復が進んだが「足元では伸び悩みが見られる」として前年度比1.9%増と予測。住宅着工戸数は前年度比5.1%増の85.4万戸と予測。

《 注目商品 》

■クリナップ、リーズナブルで使いやすい システムバスルーム「アクリアバス」

・中高級価格帯のシステムバスルーム「アクリアバス」に、機能をシンプルにした新プラン「スタイリッシュプラン」が登場。シャワー浴の一般化を受けて大流量シャワー「ZAAVA(ザーヴァ)」を標準装備。ライフスタイルの変化に合わせて長く利用できるよう、後付けのサポートバーも用意。



■東芝ライフスタイル、瞬間式温水洗浄便座2機種

・高効率セラミックヒーターユニット採用で、使う分だけ水を瞬時に温める省エネ設計の瞬間式温水洗浄便座。操作リモコンが別に付いた機種と、操作部が手元に付いた機種の2機種。リモコン操作型は、あらかじめ便器内にミストを噴射して汚れが付きにくくする「プレケアミスト」搭載。



■スマートフォンアプリ「パーパスコネクト」

・スマートフォンを使ったガス給湯器の遠隔操作、給湯器の使用エネルギーの見える化、ご家族の健康管理、離れて暮らす家族の見まもり機能など、様々なサービスをご利用いただけるアプリ。バージョンアップし給湯器2台の操作と給湯器1台の見守り、計3台の接続が可能に。

